

研究機関：広島大学

研究課題名	癢痒を伴う皮膚疾患における血液検体での病態の解明及び、診断マーカーや治療ターゲットの探索
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学 准教授 田中暁生
研究期間	2020年6月9日（倫理委員会承認後）～2026年12月31日
対象者	2005年1月1日～2020年承認日までの間に、広島大学病院皮膚科で血液検査を行ったことがある患者さん
意義・目的	種々の皮膚疾患において、血液中にある様々な物質（白血球やリンパ球、サイトカイン、凝固因子など）は病態に関わる重要な役割を果たしていると考えられています。これらを横断的、経時的に調べることで、病気の解明に役立てたり、病勢をある程度予測することを可能にしたり、新たな治療ターゲットを見つけることが期待できます。
方法	本研究は、診断・治療のために採取された残余血液を使用します。そのため、この研究のために新たに採血を行うことはありません。カルテより年齢、性別、疾患名、血液検査結果を抽出しますが、個人を特定できる情報（氏名、生年月日、電話番号、住所など）は用いません。（試料・情報は匿名化し個人を特定できない状態にして研究に用います。）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	<div style="background-color: black; height: 100px; width: 100%;"></div>